

保健体育科学習指導案

期 日 平成24年5月25日（金）第2校時
 対 象 2年3組(男子20名・女子20名 計40名)
 指導者 教 諭 日 高 晋 吾

1 単元 体育理論 2 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全 イ 運動やスポーツが社会性の発達に与える効果

2 題材 「運動やスポーツが社会性の発達に与える効果」

3 「運動やスポーツが社会性の発達に与える効果」の学習・指導の意義

中学生期は社会性を理解し身につけるのに最適な時期とされている。社会性は人との関わりや自然体験や学習などを通して、自らを振り返ったり、仲間と経験を交流したりすることによって発達していく。また、体育の授業でも、チームの中でそれぞれの役割を果たしたり、審判を行ったりするという経験やルールやマナーを守りながら活動するなど、それらの様々な経験によって社会性が豊かに発達していくことが考えられる。

中学校第1学年の保健の内容「心の健康」において、社会性そのものを学習する機会が設けられている。内容は、思春期には、自己を客観的に見つめたり、他者の考え方を理解できるようになること。また、物の考え方や興味関心が広がり、次第に自己を認識したりして、自分の価値観がもてるようになっていたりして、自己形成がなされること。そして、これらは様々な経験により、社会性の発達とともに確立していくことを学習している。

中学校第2学年の本単元は、これからの長い生涯で、運動やスポーツを豊かに実践できるようになるため、運動やスポーツの意義や効果、安全に運動やスポーツを行う必要性やその方法について理解を深めていく学習である。そのためには、運動やスポーツを行うことから心身の発達や社会性を高める効果が期待できることやそのような効果を得ていくために、運動やスポーツを行う際に健康や安全に留意することが必要になってくることを体系的に学習させていかなければならない。

この単元では、運動やスポーツがルールやマナーについて合意したり、適切な人間関係を築くなどの社会性を高める効果が期待できることを学習していく。その中で、運動やスポーツを行う過程で形成された社会性が、日常生活の場でも発揮されることを理解させたい。また学習したことがただ単に覚えるだけの知識としてとどまるのではなく、日常生活でも活用できるような力を養いたい。そして本時の学習が、高等学校での体育理論の学習（生涯にわたる豊かなスポーツライフの設計の仕方）につながり、生涯にわたって積極的に運動やスポーツを実践する力となり、豊かなスポーツライフを実現できるものにつながっていくと考える。

4 生徒の実態

実施日 平成24年4月13日(金)

対象 2年3組(男子20名・女子20名 計40名)

(1) 体育の授業は好きですか。

好き 52%

どちらかというが好き 30%

どちらかというと嫌い 15%

嫌い 3%

(2) 教室での体育の授業(スポーツの特性やルール)や保健の授業は好きですか。

好き 10%

どちらかというが好き 50%

どちらかというと嫌い 37%

嫌い 3%

(3) (2)で「好き, どちらかというが好き」を答えた人はその理由を書きなさい。

体を動かすことが好き 7名

おもしろくない 2名

興味がない 2名

(4) 運動・スポーツに関する知識を知りたいと思いますか。

知りたい 50%

どちらかというと知りたい 35%

どちらかというと知りたくない 10%

知りたくない 5%

(5) 運動やスポーツをする上で重要なものに順位をつけなさい。(%)

	1位	2位	3位	4位	5位
勝つこと	15	10	10	5	60
楽しむこと	48	23	17	12	0
自己の技術を高めること	17	33	20	25	5
仲間, 友だちづくり	5	30	30	25	20
ルールやマナーなどを身につけること	30	10	15	33	12

(6) 運動やスポーツをする上でみんなが楽しめるように心がけていますか。

心がけている 27%

どちらかというと心がけている 26%

どちらかという心がけてない 27%
 心がけてない 0%

(7) (6)で「心がけている、どちらかという心がけている」を答えた人は具体的にどのようなことをしているか、書きなさい。

- ・ できない人を笑わない
- ・ 協力し合う
- ・ みんながボールを触るようにする
- ・ パスを出し合う
- ・ 失敗した人を責めない。「ドンマイ！」などの声をかける
- ・ アドバイスし合う

(8) 運動やスポーツが心身に及ぼす効果について、当てはまるものに○を付けなさい。

ア 運動やスポーツは、身体の発育に効果があると思いますか。

思う 0%
 どちらかというと思う 85%
 どちらかというと思わない 15%
 思わない 0%

イ 運動やスポーツは、体力の向上に効果があると思いますか。

思う 0%
 どちらかというと思う 92%
 どちらかというと思わない 8%
 思わない 0%

ウ 運動やスポーツは、ストレスの解消に効果があると思いますか。

思う 57%
 どちらかというと思う 30%
 どちらかというと思わない 13%
 思わない 0%

(9) 運動やスポーツが社会性に及ぼす効果について、当てはまるものに○を付けなさい。

ア 運動やスポーツは、適切な人間関係を築くことに効果があると思いますか。

思う 47%
 どちらかというと思う 40%
 どちらかというと思わない 13%
 思わない 0%

イ 運動やスポーツを通して社会性が身に付くと思いますか。

思う 37%
 どちらかというと思う 40%

どちらかというと思わない 20%
 思わない 3%

ウ スポーツで身に付く社会性とはどのようなものか。具体的に書きなさい。

誠実さ・責任感・協力・達成感・思いやり・ルール
 マナー・礼儀・判断力・コミュニケーション

〈考察〉

82%の生徒が「体育の授業が好き」と答えており、体育の授業への意欲は高い。しかし、体育に関する知識や保健の授業など教室での学習になると40%の生徒が「嫌いまたはどちらかいうと嫌い」と答えている。その理由としては「体育の授業だから体を動かしたい」や「おもしろくない、楽しくない」または「興味がない」という意見が多くあがったが、質問4の「運動・スポーツに関する知識を知りたいと思いますか」の問いには85%の生徒が「知りたい」と答えている。このことから、体育・スポーツに関する理論への興味は高いが、従来の教室での講義中心の学習にはあまり関心が湧かないことを意味している。よって生徒の興味関心を高めた魅力ある体育理論の授業づくりが必要不可欠である。そこで、まずはブレインストーミングやグループディスカッションなどグループ活動を活性化させて全員参加型の授業を行い、またプレゼンテーションや視覚的資料の活用を図るなど生徒の興味関心を高めた授業づくりに努めたい。そしてただ単に覚えるだけの授業や知識だけの授業ではなく、体育理論の知識を核として、思考したり、判断したりすることで、運動の実践と結びつけた授業にしたい。

質問5の運動やスポーツをする上で最も重要なものに「楽しむこと」があがり、次に「自己の技術を高めること」「仲間づくり」の順であった。「勝つこと」については、最後の5番目に重要と答えた生徒の割合が最も多かった。このことから、生徒たちはスポーツを楽しみながら、仲間づくりを通して、自分やチームの技術を高めていきたいと考えており、「楽しむこと」と「勝つこと」は別のものであると考えていることがわかった。

質問6の「運動やスポーツをする上でみんなが楽しめるように心がけていますか」の問いには、73%の生徒が「心がけている」と答え、みんなで楽しもうという意識は高いようだ。また具体的に心がけていることは「ミスした人を笑わない」「ドンマイの声をかける」「みんなでボールを触るようにパスをする」などがあがり、ミスした人の励ましやチームの作戦や戦術を工夫し、全員でプレーする意識が高いようだ。しかし、「意識せずにプレーする」と答えた生徒が17%おり、そこには課題が残る。そこで、体育的行事や部活動と関連づけた身近でタイムリーな話題を活用し、生徒の周りで起こりうる問題や実際に起きている問題等を取り上げ、自分のことやクラスのこととして捉えることができる資料の活用を図り、運動やスポーツへの取り組み方を見つめさせたい。

運動と社会性に関する質問では「運動やスポーツを通して社会性が身に付くと思いますか」の問いに、77%の生徒が関連が深いものと理解しているが、23%の生徒が「運動やスポーツで社会性が身に付かない」と捉えている。それらの手立てとして、まずは毎時間の体育授業の充実を図ること

と前時の学習である「運動やスポーツの効果」でしっかり理解を深めさせい。また具体的に身に付く社会性には「誠実さ、責任感、協力、達成感、思いやり、ルール、マナー、礼儀、判断力」があがった。それらが、日常生活の場や将来の生活に生かされることを理解させ、得た知識を運動領域で活用できる力を高めさせたい。

5 「運動やスポーツが社会性の発達に与える効果」の学習・指導のねらい

- (1) 学習形態や教材の工夫をすることによって、興味関心を高める授業づくりを行い、体育理論の学習内容を評価の観点を踏まえながら生徒に習得させるようにする。
- (2) 運動やスポーツを行う際に必要な社会性は、スポーツがルールやマナーに関する合意を形成することや適切な人間関係づくりを築くことを理解させる。
- (3) 運動やスポーツを行う過程で、形成された社会性が、日常生活の場や将来の生活に生かされることを理解させる。
- (4) 体育理論が単に覚えるだけの知識にとどまらないように、体育理論で得た知識を運動領域で活用できる力を培う。

6 「運動やスポーツが社会性の発達に与える効果」の学習・学習指導上の方針・方策

- (1) 知識と技能を高めるための工夫【「わかる」と「できる」】(研究冊子 保体6(1)参照)
 - ア ブレインストーミングやグループディスカッションなどグループ活動を活性化させ、全員参加型の授業づくりに努める。
 - イ 学習内容に結びつく視覚的資料を用い、生徒が興味関心をもって学習に取り組めるような導入の工夫を図る。
 - ウ 電子黒板を活用し、プレゼンテーションソフトやデジタル教科書、映像写真などの活用を図り、学習させたい内容を視覚的に訴え、わかりやすさを高めさせたり、興味関心を高めさせたりする工夫を図る。
- (2) その他
 - ア 生徒が自ら課題を発見し、課題に気付くような課題発見的・課題探求的な学習活動を中心に授業を展開する。
 - イ 発達段階に応じた生徒の関心事を理解させたり、興味関心を高めさせたり、思考を深め探求心を育てていくような発問の工夫を図る。
 - ウ 「知識・理解」「思考・判断」を評価することができるようなワークシートの工夫を図る。
 - エ 小集団(グループ学習)、ペア学習、個別学習など学習内容、生徒の実態に応じた学習形態の工夫を図る。
 - オ 体育的行事と関連づけた自作の資料を用い、身近でタイムリーな話題を活用し、生徒の周りで起こりうる問題や実際に起きている問題等を取り上げ、自分のこととして捉えることができるような資料の工夫を図る。

7 単元の指導計画

時数	内容	学習内容	備考
1	運動やスポーツが心身に及ぼす効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動やスポーツをすると体にどのような効果・変化があるのか考える。 2 自分はどのようなときに運動やスポーツをしたくなるのか考える。 3 運動やスポーツをするとどのような気分になるのか考える。 4 運動やスポーツで得られる心の変化について考える。 5 4つの発問についてブレインストーミング意見を出し，KJ法で分析する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚的資料の活用 ・ グループディスカッション ・ ブレインストーミング ・ KJ法
② 本時	運動やスポーツが社会性の発達に及ぼす効果	<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツのルールとルールの変遷について考える。 2 スポーツのマナーについて考える。 3 学習資料を読んで，運動を楽しく行うための工夫を考える。 4 運動やスポーツで培われた社会性は，日常生活のどのような場面で生かされるか，具体的に考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブレインストーミング ・ KJ法 ・ 自作資料(読み物資料) ・ グループディスカッション ・ 視覚的資料の活用 ・ 電子黒板の活用
3	安全な運動やスポーツの行い方	<ol style="list-style-type: none"> 1 運動やスポーツの安全な行い方とはどのような方法か考える。運動前，運動中，運動後に分けて考える。 2 運動やスポーツの安全な行い方について知る。 3 運動やスポーツの計画・立案について知る。 4 2を生かした運動メニュー作成を行う。 5 確認テストを行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ブレインストーミング ・ KJ法 ・ グループディスカッション ・ 映像の活用

8 本時の実際

(1) 指導区分

(2) ねらい

ア スポーツのルールやマナー，社会性についての学習に積極的に取り組もうとする。

イ スポーツに求められる社会性について，どのように日常生活と関わっているか，具体例を通じて考え理解する。

ウ スポーツのルールやマナー，スポーツに求められる社会性とはどのようなことかについて理解する。

(3) 本時の学習過程

学習過程	時間	学習内容及び学習活動	(○) 指導上の留意点 (●) 支援・援助	備考 形態
導入	9'	1 ボルト選手の 100 m 走失格の映像から考える。 ・なぜ失格になったか，その原因を考える。 2 スポーツのルールとルールの変遷について考える。 ・なぜ，ルールが変更するか考える。 ・ルールが無かったらどうなるか考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> スポーツに求められる社会性とはどのようなものだろうか。 </div>	○ 100 m 走のルールの視点から原因を考えさせる。 ● 興味関心を高めるための導入の工夫 [指導案 保体 14-6-(1)-(i)] ● 興味関心を高めるための視覚的資料の活用 [指導案 保体 14-6-(1)-(ii)] ○ 興味関心を高める発問め，学習課題に結びつくような発問を行う。 ○ スポーツのルールは不変ではなく，頻繁にルール変更が行われていることを理解させる。 ● 思考を深め探求心を育てていくような発問の工夫	・ 動画活用 (電子黒板の活用) ・ 視覚的資料の活用 ・ 視覚的資料の活用
	3' 10' 13' 8'	3 社会性について振り返る。 ・社会性のキーワードを思い出し理解する。 4 学習資料を読んで考える。 ・AチームとBチームの違いを考える。 ・所属したいチームとその理由について考える。 5 みんなが楽しく運動やスポーツをするために楽しむための工夫を考える。 ・思いつく意見を書き出す。 ・社会性のキーワードに分類する。 ・多かった意見をグループ毎に紹介する。 ・グループで意見を共有し，紹介する。 6 運動やスポーツで培われた社会性は，日常生活のどのような場面で生かされるか，具体的に考える。 ・具体的な例を紹介する。	○ 既習事項の復習をさせる。 ○ 社会性のキーワードを掲示する。 ● より具体的にイメージさせるための読み物資料(身近な題材：球技大会)の活用 ● 生徒全員が主体的に学習に参加するためのグループワークの活用 ・男女の考えを共有できるように，男女混合のグループを編成させる。 ● より多くの生徒の意見を反映させるためのブレインストーミングの活用 [指導案 保体 14-6-(1)-(7)] ○ ブレインストーミングの方法について理解させる。 ○ 付箋紙にどんどん書かせ，意見を出させる。 ○ 同じ意見をまとめ，グルーピングさせる。 ○ 社会性の発達に関するキーワードを出させ，板書しながら整理していく。	・ デジタル教科書の活用 ・ 自作の読み物資料の活用 個 ↓ グループ ・ グループワーク ・ バズセッション ・ ブレインストーミング ・ k j 法 グループ ↓ 個
終末	7'	7 本時のまとめ ・今日の授業のまとめをワークシートに記入する。 ・全体で発表し合い，考えを共有しながら整理し，まとめる。 8 なでしこジャパンの佐々木監督の世界に勝つための11の心得を紹介する。	○ 課題についてのまとめをワークシートに記入させる。 ○ 個々の考えを発表させながら全体で共有することで，学習の深化を図る。 ● 興味関心を高めるための視覚的資料の活用 ○ なでしこジャパンの佐々木監督の世界に勝つための11の心得について考え，社会性について理解を深めさせる。 [指導案 保体 14-6-(1)-(ii)]	・ 視覚的資料の活用